

8月19日(月)

行いによるのではない

聖書朗読 エペソ 2:1~10

それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるのでは
ありません。だれも誇ることはないためです。 エペソ 2:8~9

「誇る」という人間の性質は世界共通なのではないでしょうか。自分の生き方を誇る。それは幼い頃から既に始まっています。自分、自分の何か、自分の持っているもの。自分の方が、相手よりよく出来るに決まっている。あの人の一番のお気に入り
は私。何であれ、私の方があなたより優っているのです。

何年も前のことになりましたが、休暇を利用してアイオワで行われたバイブルスク
ールでのこと。私はクラスの間の休憩時間にブランコの傍で、4歳になる二人の男の
子達の会話を微笑ましく聞いていました。すると一方の男の子が、両親とカリフォル
ニアへ旅行をした事を誇らしげに話し始めました。それに対し、もう一方の男の子も
こう返しました。「僕なんかイリノイに行ったことがあるんだぞ」。先に自慢を始め
た方の男の子は、地理的なことが分からないので、困惑の様子が彼の表情から伺えま
したが、彼はさらに何か自慢出来ることがないかと、頭をフル回転させてネタを探し
ているようでした。

私は、天にあるお父様は何と賢いお方かと思わず笑ってしまいました。私たちが
皆同じレベルにしてくださったんだなと思いながら。神様は私たちを救ってくださ
いました。それは私たちの行いによるものではありません。私たちが何か善い行いをした
なら、それは教会全体、キリストのからだ全体が認められることであり、他の誰かよ
り自分の方が優れているということではないのです。

讃美歌 518

祈り 父よ。あなた様が私たち一人一人の思いをご存知で、同じ完全な御愛によ
って私たちを愛してくださることを感謝します。どうか私たちがあなた様
の御愛のうちにあり、あなた様にもっと似るものとして成長することがで
きるようにしてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ジャニス・クラマー

カリフォルニア州 エスコンディッツ

今日のカ

2013年8月19日~8月25日

翻訳 藤岡伸子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月20日(火)

神のご臨在

聖書朗読 エペソ 3:10~17

私たちはこのキリストにあり、キリストを信じる信仰によって大胆に確信をもって神に近づくことができます。
エペソ 3:12

何と素晴らしいことでしょう。イエス様は、神のおられる場所への扉を開き、私たちを招いて下さっているのです。制限は何もなく、ただ入ればよいのです。私たちはありのままのままで神の御前に立つのです。神はありのままの私たちをご存知ですから。

私たちは、神の前で、自分の深い思いや深刻な思い煩い、喜びや希望や夢をすべて言い表してもよいのだという確信があります。また、神を褒め称え賛美することが出来ます。さらに最も大切なことですが、主にあって、神のお答えを聞くことが出来るのです。私たちには、こうしたことの自由が与えられているのです。なぜなら、私たちには、イエス様を通して与えられた神との新しい関係があるからです。

なぜ神は、私たちとの関係を望まれるのでしょうか。それは、私たちには不思議なことです。けれども、旧約聖書全体を通して、神は、ご自身の創造された者と関わり合うことを求めておられ、私たちとの交わりを持とうとされたのは神の御意思であり、それは今も続いているのです。エペソ3:12には、私たちが神に近づき神との交わりを持つことが許されていることが記されています。

聖歌 289

祈り 私の祈りに耳を傾けてください。神よ、私はあなた様の御前に立ちます。あなた様への賛美を受け入れてください。私の訴えにお答えください。私の罪をお赦しください。あなた様への愛をいつも表すことができるよう、私の命を造りかえてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ケイ・ワトソン

ノースカロライナ州 ダラム

8月21日(水)

キリストに倣う

聖書朗読 ピリピ 2:12~18

何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。
ピリピ 2:3

パウロはその書簡全体を通して、彼の愛と他者への感謝を表しています。パウロは人々がキリストのために良い働きをし、キリストへの愛を示すことを大変喜んでいきます。パウロはとてとても熱心に、人々の思いと考えを神への信仰における目標に向けようとしました。彼は、ただ彼らを賞賛するだけでなく、必要であれば正すこともしました。

パウロがピリピの人々を励ました事実は、今日の私たちにも向けられています。彼は、私たちが他の人に愛を示し、他の人を思いやること、そして謙遜であることを思い出させてくれます。また、私たち自身の利益を求めのではなく、他者の利益を顧みることを求めています。

キリストは、他者に仕えるというご性質を持っておられ、謙遜、従順であられました。他の人々に仕えることを喜び、親切で憐れみ深い方であられました。もし、キリストに似た者となるのであれば、私たちは、キリストの測り知れない神のご性質をまねる必要があります。

パウロは、ピリピの人々にこう言います。『すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行いなさい。それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中にあって傷のない神の子どもとなり・・・』、また、彼は、星のように輝き、主のために明るく輝くようにと彼らに望んでいます。私たちはキリストのために星のように輝いているのでしょうか。

パウロの締めくくりの言葉をここに引用します。『どうか、主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊とともにありますように。』(ピリピ 4:23)

讚美歌 121

祈り 親愛なる主よ。私たちが、どうか喜んであなた様を称える生き方をすることが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

スー・レータム

カリフォルニア州 アンテロープ

8月22日(木)

聞きなさい

聖書朗読 ヤコブ 1:22~25

神である主は、私に弟子の舌を与え、疲れた者をことばで励ますことを教え、朝ごとに、私を呼びさまし、私の耳を開かせて、私が弟子のように聞くようにされる。

イザヤ 50:4

私は幼い頃、祖母の家に遊びに行くのをいつも楽しみにしていました。祖母の家では、様々な素晴らしい音に出会えたからです。中でも、遠くに聞こえる列車の汽笛の音、そして、玄関のポーチでは、野バトのクークーという鳴き声をするのを楽しみに待っていました。その頃、私は、大人になったらこんな色々な音が毎日出会う所に住みたいと思っていました。そして今実現し、そのようなところに住んでいます。

ダビデは、『やめよ。わたしこそ神であることを知れ。』(詩篇46:10)ということが、私たちに必要であることを思い出させてくれます。私たちは、耳を傾けることで神に心を向けます。さらにそれだけでなく、耳を傾けることによって、私たちの心には、仕えるという精神が育まれるのです。

私たちは耳があっても、ただ聞くだけではなく、耳を傾ける時間を意識的に取ろうという心構えが必要です。傷ついた人あるいは孤独のうちにある人の心の声に耳を傾けてください。職場でも礼拝でも、人と挨拶は交わすでしょうけれど、私たちは彼らの名前や、彼らが必要としているものを、どれだけ真剣に聞こうと自分の耳を意識的に傾けているでしょうか。

私は幼い頃、音を聞いてそれによって喜びを得られるという恵みを与えられました。歳を取った今でも、耳を傾けるということに霊的な素晴らしさがあることを実感しています。私は耳を傾けることによって、神に仕えることができるのです。ある昔の書物を記した人はこう言っています。「知恵を得るためには、まず静まること、次に耳を傾けること」。

讚美歌 453

祈り 父よ。あなた様はある目的のために私に聞く耳をお与えくださり、その目的が恵みとなることを感謝します。あなた様が私の思いに耳を傾けてくださるように、私もあなた様の御声に心から耳を傾けることができるようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

キャロル・ロデス
コロラド州 プエブロ

8月23日(金)

方向転換

聖書朗読 1ペテロ 2:9~12

私を義の道に導かれます。

詩篇 23:3

数年前のことになりますが、私は仲間数人とイギリスのコッツウォルズウェイを登っていました。チップングカムデンからバースまで歩くことのできるトレイルです。そのトレイルの標識はたいていきちんと立てられていたので、道を逸れることなく登ることが出来たのですが、場所によっては、標識がなくなっていたり、動かされていたり、読みにくいものもありました。ほんの数回ですが、標識を見失うこともありました。

そんな時は、トレイルのレンジャーたちが助けてくれました。彼らは、ハイカーが誤った道に入っているのに気づいたら、正しいコースに連れ戻してくれるのです。あるとき、道を下っていたときに、思い出深い出来事がありました。一人の女性が家の2階の窓から私たちに向かって大声で叫んでいるのです。彼女はこう尋ねました。「皆さん、コッツウォルズウェイを登っていらっしゃるの?」「はい、そうです」と答えました。するとその女性は、「それならこの道は逆方向で、今来た道を道路が交差する所まで戻らないと。そこまで戻れば道が分かりますよ」。もし、このまったく見ず知らずの女性が助けてくれなければ、どこに向かっていたか分かりません。

皆さんは、人生の歩みにおいて、トレイルのレンジャーのような人に出くわしたことはありますか。もし出くわしたことがあるなら、それは、私たちに神様が恵みをお与えくださっていることの証でしょう。その恵みは日々溢れているのです。

何と素晴らしい歩みでしょう。神様の恵みを受け取り、そして与えることが出来るとは。

讚美歌 294

祈り ご在天のお父様。あなた様の溢れる恵みを受けるとき、どうか私たちも他の人に恵みを施すことが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

トニー・アッシュ
テキサス州 アビリン

8月24日(土)

主が生きておられるから

聖書朗読 黙示録 21:1~7

しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。ローマ 8:37

病院の待合室に腰をかけていたとき、ある二人の女性の会話を耳にしました。そのうちの一人は、もう何度も癌の治療をしてきたようで、今回も、今後に希望を持つような報告を医者がしてくれることを期待して待っていました。もう一人の女性は、彼女の話聞いてとても落ち着かない様子でこう言いました。「私があなただったら、あなたのように平静でいられないわ。どうしてそんなに落ち着いた様子でいられるの？」

初めの女性はこう答えました。「家族や友人らがとても良い支えになってくれますから。でも、それだけではなく、私がここまでやって来られたのは、聖書を読んでいるから。たとえこの病が私の身体を痛めつけようとも、私は勝者なんです。イエス様のお陰で」。

この女性の確信に満ちた言葉は、イエス様の近くに居るからこそ表れるものなのでしょう。私は、彼女と同じように希望を持って待合室を立ち去りました。全く健康な若者として、私もこの女性と同じような確信を言い表すことができます。

人は、人生で調子の良いときのみイエス様を見上げるのではないのでしょうか。イエス様だけが私たちにお与えくださる確信を祈り求めましょう。日々私たちが苦しむこと、それが重大なことでも、些細なことであっても、イエス様は真剣に捉えてくださるのです。イエス様は私たちを、恐れずに完全なる確信をもって歩むようにとおっしゃっています。医者も心理カウンセラーも教師も誰も、私たちが真の確信を持って生きるために必要なものは与えてくれません。人生のいかなる状況にあっても、私たちの信仰と希望は、主にあるのです。

讃美歌 276

祈り 親愛なる主よ。私たちが必要なもの、時間をすべて与えてくださるあなた様に感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェシカ・スミス

ジョージア州 アトランタ

8月25日(日)

永遠の喝采

聖書朗読 黙示録 5:6~14

ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。黙示録 5:12

あるオーケストラの演奏を聴きにいったときのことで。そのオーケストラは、米国でも屈指の楽団で、演奏は素晴らしいものでした。けれども、その夜のクライマックスは、演奏が始まる前にありました。その楽団で30年にもわたり演奏活動を行ってきたメンバーの一人が退団することとなり、その功績を称える式典が設けられたのです。聴衆たちの拍手喝采の中、彼の仲間の楽団員数名が楽団恒例の足をどンドンと踏みならずパフォーマンスを行って見せました。楽団を退くこのメンバーを、私はこれまで見たこともなく、演奏も聴いたことはありませんが、真に榮譽を受けるにふさわしい人を称えるという場にあつて、私はとても心動かされました。

この老齢の楽団員を称える場で、手が痛くなるほど拍手をしましたが、そのとき私には心が躍るある考えが浮かびました。想像してみてください。私たちの主がああ素晴らしい日に受けるであろう喝采を。私が演奏を聴きに行ったあのヒューストンのホールには1000名以上の聴衆がいたと思いますが、終わりの日に皆が集まるとき、数え切れないほどの天使や聖なる者たちが、拍手喝采し賛美の声をあげ、私たちの主、王の王を称えることでしょうか。何と素晴らしいことでしょうか。想像できますか。永遠の拍手喝采を。そのときを私は待ち望んでいます。

聖歌 477

祈り 親愛なる父よ。あなたこそ、私たちすべてが賞賛し、礼拝し、愛するにふさわしいお方です。私たちの声が、天の楽団とひとつになる日を、心から待ち望みます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイヴィッド・ラングフォード

テキサス州 ラボック